

町内会役員等への負担軽減について

1 現状と課題

- (1) 時間的負担が大きい（アンケート結果より）
- (2) 核家族化や共働き世帯の増加など、活動に参加できない世帯が増加している
- (3) 高齢化によりこれまで負担ではなかったことも負担になってきている

2 目指すべき方向性

- (1) 現役世代を含め、誰でも役員をつとめることができる町内会運営
- (2) 活動に参加（加入）することへの負担感の軽減

負担軽減による人材確保、加入の促進、退会の防止 ⇒ 持続可能な町内会運営へ

3 負担軽減に向けた取り組み

① 市が取り組むこと

- (1) 書類の簡素化・デジタル化
- (2) 市の依頼事項の整理・見直し
- (3) その他団体運営の支援



取り組みの例

- ・申請、報告書類の電子化併用
- ・回覧依頼の削減
- ・区町内会のしおりの発行

② 市と町内会で取り組むこと

- (1) 情報共有の仕組みの見直し
- (2) 町内会の必要性・重要性の発信
- (3) 地域の企業・市民団体との連携
- (4) 町内会役員業務の可視化



取り組みの例

- ・回覧物のホームページへの掲載
- ・町内会活動の啓発
- ・テンプレートの提示、引継ぎ支援

③ 町内会が取り組むこと

- (1) 活動内容等の見直し、スリム化
- (2) 運営方法の見直し
- (3) ICTの活用



市の支援の例

- ・事例の紹介
- ・情報の収集・発信

⇒ その他行政が支援できることは？